

3 ことばの教室の指導内容

(2) 吃音『どもる』のある児童への指導

- ① 楽にことばを出すようにしたり、音読したりする方法を見つける指導
(吃音をコントロールする方法を探す)

- ・発声指導 (いろいろな声を出すことができるようにする)
- ・単音や単語を楽に言う指導
- ・音読指導
- ・楽しくお話をする会話指導



- ② 吃音について理解し、自分からクラスのお友達に吃音について話することができるための指導
- ・吃音とは何か？
 - ・自分の吃音の状態を知る。
 - ・吃音について友だちに説明し、必要に応じて合理的配慮を求めることができるようになる。
- ③ 学級の中や日常の中で
- ・学習面（音読など）の支援を通して、自信をつける指導
- ④ 環境を整える
- ・学級や家庭での吃音への理解のもと、ゆったりとした雰囲気、ゆっくりと話しかけたり、最後まで待つ話を聞いたりするような環境を作る。
 - ・どもることが、悪いことというイメージを持たせないために、どもったことよりも話の内容を聞くようにする。
- ⑤ 吃音理解授業
- ・学校の要望により児童が在籍する学級で、吃音についての話を本人保護者了解のもとことばの担当教師が行う。